

情 報 提 供	
平成 20 年 3 月 10 日	
担当部署	社会連携センター：松浦
電 話	0 8 6 - 2 5 1 - 7 1 1 2

「第 7 回 岡大サイエンスカフェ」の開催について

岡山大学は社会連携活動の一環として、下記のとおり第 7 回岡大サイエンスカフェを開催することとしましたのでお知らせします。

記

1. 趣旨

岡山大学研究者の学術研究の成果等を地域社会に向かって平易な言葉でわかりやすく説明し、学生や生徒、社会人に多くの研究分野に対する興味と関心を持っていただき、研究者と参加者がコーヒーなどを飲みながら気楽な雰囲気の中での対話を通じて科学を身近に感じてもらい、併せて地域社会との連携を深めていくことを目的として開催するものです。

2. 開催日時

平成 20 年 4 月 24 日（木） 18：00～19：30

3. 開催場所

岡山大学創立五十周年記念館（岡山市津島中 1-1-1）

4. テーマ

遺跡で読む古代人の心と社会 ～倉敷市勝負砂古墳の発掘調査から～

5. 講師

岡山大学文学部人文学科 准教授 松木 武彦

（専門分野：日本考古学、理論考古学）

6. 話の概要：

2007 年春、岡山大学文学部考古学研究室は、倉敷市真備町の勝負砂古墳を発掘し、1500 年前に埋葬が行われたまま一度も盗掘されることのなかった竪穴式石室を発見しました。内部からは、人骨や棺の痕跡とともに、青銅製の鏡・馬具、鉄製のよろい・刀・矢じり・農工具、赤色顔料を容れた壺、砥石、滑石のビーズ、漆製品など、たくさんの貴重な副葬品が見つかりました。現在、これらの資料は大学に持ち帰り、他の研究機関や専門家の協力を得ながら、科学的な分析を進めています。鏡やよろいが何種類もの繊維で丁寧に包まれていたこと、顔料の成分、馬具の構造、人骨の性別や年齢などが、最新の分析技術で明らかになりつつあります。文系・理系両学問の接点ともいえる考古学が、1500 年前の技術や文化をどのように解明しているのか、最前線の成果をお伝えしたいと思います。

7. 参加対象者及び申込み方法等

参加対象者：社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方 35 名程度
（先着順で受け付けます。） ただし、本学の教職員・学生は除きます。

申込先：岡山大学社会連携センター

FAX: 0 8 6 - 2 5 1 - 8 4 6 7

E-mail: s-renkei@adm.okayama-u.ac.jp

締切り：平成 20 年 4 月 18 日（金）

（氏名、年齢、電話番号または F A X 番号は必ず明記）

参加料：無料

以上